

はにい みんなけっこう違うね

平成27年3月12日



6月に幼稚園訪問をした授業の続きとして、今日は、幼稚園児を中学校に招いての交流会です。

「仲良くなるためにジャンケン列車をします」
「ジャンケンをして負けた人は勝った人の後ろに回って肩のところに手をやって…あっ?!届かないか!」

緊張気味の説明者を温かい笑いが包みます。
「俺たちデカイし。立っていると幼児が見えない」
誰かが言うと、どこからともなく中学生は順番にしゃがんでいきました。

「ああ!こないだようちえんにきたひとだあ!」

「覚えてるの?!すごい、嬉しい!」

「お名前は?」「〇〇〇!」

元気に話しかけてくる幼児もいればそのそばで、じっと立っている幼児もいます。

「みんなけっこう違うね」

「あたしたちだって、そうじゃん」

『個人差』を実感します。



「次は私達が作った絵本の読み聞かせをします。グループのお兄ちゃんお姉ちゃんのところに行ってください。」

「わあーい」と歓声上がるや否や幼児は中学生のすぐ目の前に座りました。中には膝の間に入り込む幼児もいます。

すっぽりはまった幼児に触れて
「ちっちゃいけどなんかずっしりする。おまけにあったかい!」

家庭科「幼児と触れ合い体験」を通して、相手を思いやるかわり方を学びました。

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp